



2026年4月30日

各位

会社名 株式会社 田 谷  
代表者名 代表取締役会長兼社長 田谷 和正  
(コード番号：4679 東証スタンダード市場)  
問合せ先 経営企画部長 落合 一  
(TEL. 03 - 6384 - 2231 )

### 特別損失の発生、通期業績予想と実績値の差異および剰余金の配当（無配） に関するお知らせ

当社は、2026年3月期において、下記のとおり特別損失の計上を行うとともに、2025年4月30日に公表いたしました2026年3月期の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。加えて未定としておりました配当について決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、将来キャッシュ・フローがマイナスと見込まれる22店舗につきまして、減損損失165百万円を特別損失に計上いたしました。

#### 2. 通期業績予想と実績値の差異について

(1)2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）通期業績予想数値と実績値の差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,180	50	50	20	3.97円
今回発表実績 (B)	5,075	37	34	△160	△25.81円
増減額 (B-A)	△104	△12	△16	△180	
増減率 (%)	△2.0	△24.4	△31.8	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	5,444	3	4	△62	△12.46円

## (2) 差異の理由

当事業年度におきましては、物価上昇に伴う店舗運営コストの増加等、厳しい経営環境が継続いたしました。各種コスト削減施策の推進により、営業利益および経常利益は2期連続で黒字を確保いたしました。

一方、売上高につきましては、既存店において客単価は概ね計画通り推移したものの、店舗閉鎖の影響に加え、人手不足や顧客来店周期の長期化等により入客数が伸び悩み、全体として計画比2.0%減となりました。

営業利益および経常利益につきましては、原材料価格の上昇に伴う仕入コストの増加があったものの、販管費の圧縮を重点施策として推進し、前期比55百万円の削減を実現となったものの、売上高の減少影響を補うには至らず、前回予想を下回る結果となりました。

また、当期純利益につきましても、「1.特別損失の計上について」に記載のとおり、減損損失等を計上したことにより、前回予想を下回る結果となりました。

## 3. 剰余金の配当について

### (1) 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2025年4月30日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基 準 日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

### (2) 理由

当社は、業容の拡充に努めるとともに、株主の皆様に対し安定的な配当を継続して実施しつつ、業績に応じた還元を行うことを基本方針としております。しかしながら、2026年3月期通期の業績を総合的に勘案いたしました結果、期末の配当を無配とさせていただきます。

なお、株主優待制度につきましては、2025年11月13日公表の「創業60周年記念特別株主優待の実施に関するお知らせ」および2026年3月6日公表の「株主優待制度の一部変更（電子申込みの導入）に関するお知らせ」のとおり、一部制度の拡充ならびに株主優待券・優待商品の申し込み方法の変更を実施することといたしました。

※（ご参考） 配当予想は次のとおりとします。

基準日	1株あたり配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
配当予想			
当期実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭
前期実績 (2025年3月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

以 上